



“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和7年9月②
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmobbb.jp



◆不思議な力をもつ文字

揠
招
揠
招

Q この4文字は
何と読むのでしょうか？



ありそうな漢字のようでもあり・・・
でも、見たことはないな・・・

大東図書館において、「戦後 80 年特別展示 ～過去と現在を語るものたち」が先月開催されました。当山でお預かりしている寄せ書きされた日章旗や軍事郵便などもその一部として多くの方に見ていただいたようです。

千人針が施された腹巻も資料の一つ。そこに書かれている字が、上記の漢字様のものです。漢字“様”としたのは、漢字では無いからです。

これは「サムハラ」と読む神字といわれる文字です。



なぜサムハラという文字が書かれているかという理由、それは“弾丸除け”の願いひとつに集約されていたといわれます。



大東図書館での展示の様子

揠招揠招（以下「サムハラ」と表記）という4文字が使われたとされる最も古いものは、熊本城を築城した名将加藤清正の刀に彫ってあったこの字とされます。江戸時代には将軍にまつわる品から武士、町民百姓に関するものまで様々あります。江戸期のサムハラ信仰はケガ除け、虫除け、地震除けなどを願ったものとされますが、不思議な力を持つ4文字として全国各地に広まっていたようです。

明治時代以降、他国との戦争のなかで護身札としての性格が強まり、千人針を施したものが盛んに作られるころには敵の弾を除けるお守りとなるよう書き込まれたようです。

サムハラおんの音の起源、また文字の成り立ちには古くインドの言葉や仏教との関係を指摘する説がありますが、神道でもこの文字を書くサムハラ神社（大阪市西区）があります。今も厄事災難除け、無傷安全、無病息災などの願いをもち多くの人がお参りされているようです。

因みにサムハラ神社から1.5kmほどの所に当山に戦時中疎開に来ていた九条東小学校があります。